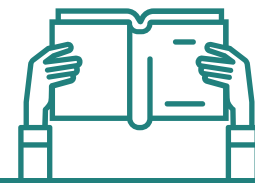


港南スタンダード

【学習の基礎・基本】

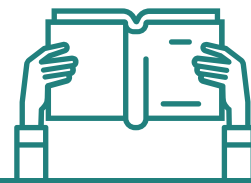


～素敵な港南小学校の児童になるために～

中・高学年向け

場所・場面		行動など
授業用具の準備と使い方	○ロッカー	① ロッカーに入れる物を決まったところに整理整頓する。 ランドセル、音楽バッグ、鍵盤ハーモニカ、図工バッグ、絵の具、体育着、習字道具、裁縫箱、うわばき袋
	○机の中、机の横	②・道具箱右側に、教科書、ノートを入れる。左側に、常に置いておくものを入れる。 〈常に置いておくもの〉のり、はさみ、セロテープ、色鉛筆 ・机の横にランチョンマット、防災ヘルメットをかける。
	○筆箱の中	③Bか2B（5本）、赤鉛筆（1本）、名前ペン、四角い消しゴム、定規 ※鉛筆は、毎日削ってくる。（六角鉛筆が望ましい。） シャープペン不可 ※四角い筆箱。（カンペン×、無地ものが望ましい。） ※消しゴムは、においがあるもの、キャラクターがかかっているものは控える。
	○ノートの準備と使い方	④・指定されたマス目のノートを使用する。 ・下じきを使用する。 ・日付、教科書のページ等を書く。
授業前	○授業前の準備と待ち方	⑤・教科書とノート、下じき、筆箱を机の上にそろえ、静かに先生を待つ。 ・チャイムが鳴り終わるまでに着席する。 ※5分休みは、トイレ、水飲みの休けい時間で遊ぶ時間ではありません。
	○教室の移動	⑥・静かに並んで移動する。（担任が引率する） ・専科の授業後も静かに並んで教室に戻る。（担任が引率する）
授業中	○号令のかけ方 「日直」『児童全員』	⑦・「これから学習を始めます。』『はい。』『よろしくお願いします。』『よろしくお願いします。』 ・「これで学習を終わります。』『はい。』『ありがとうございました。』『ありがとうございました。』
	○いすのすわり方	⑧背筋を伸ばし、足を床につける。
	○ノートのとり方	⑨・板書をていねいに書き写す。 ・学習の流れが分かるように自分なりに工夫してノートをかく。
	○拳手をして発表するときのきまり	⑩・静かに手をあげる。 ・名前を呼ばれたら「はい」と返事をし、立って発表する。文章で言い切る。 「はい」 たつ 「です」 (返事) (起立) (丁寧な言葉で最後まで言い切る)
授業後	○聞き方	⑪相手を見て、話の終わりまで聞く。
	○学習後の片付け、準備	⑫・元の場所に学習用具を片付ける。 ・次の学習の準備をする。
家庭で	○学習用具の準備 ○家庭学習	⑬・予定表や連絡帳を見て、自分で学習に必要なものを準備する。 ・自分からすすんで宿題に取り組む。 ・えん筆をけずってくる。

こうなんスタンダード 【がくしゅうのきそ・きほん】



～すてきなこうなん小学校の子どもになるために～

低学年向け

ばしよ・ばめん		こうどう など
じゅんぴとつかいかた	○ロッカー	①ロッカーのおくまで ランドセルをいれる。
	○オープンロッカー	おちないように、たておきでおくまでいれる（ひもなども でないようにする）。 おんがくバッグ、けんばんハーモニカ、ずこうバッグ、えのぐ、たいいくぎ、うわばきぶくろ、すいとう
	○つくえのなか ○つくえのよこ	②・どうぐばこの みぎがわに、きょうかしよ、ノートをいれる。 ひだりがわに、いつもおいておくものをいれる。 〈いつもおいておくもの〉 のり、はさみ、セロテープ、いろえんぴつ、クーピー、クレパス ・つくえのよこに ランチョンマット、ぼうさいヘルメットをかける。
	○ふでばこのなか	③B か 2 B（5ほん）、あかえんぴつ（1ほん）、なまえペン、けしゴム、じょうぎ ※えんぴつは、まいにちけずってくる。 シャープペン は つかわない。 ※しかくいふでばこ。（カンペン×、えがかいてないもの） ※けしゴムは、においがあるもの、キャラクターがかかっているものはもってこない。
	○ノートのじゅんぴとつかいかた	④・マスめのノートをつかう。 ・したじきをつかう。 ・ひづけ、きょうかしよのページをかく。
じゅんぴとまちかた	○じゅぎょうまえのじゅんぴとまちかた	⑤・きょうかしよ、ノート、したじき、ふでばこのじゅんばんで つくえのうえにそろえる。 ・チャイムがなりおわるまでに ちゃくせきする。
	○きょうしつのでいどう	⑥・しずかにならんでいどうする。（せんせいといっしょにいく）
じゅんぴとつかいかた	○ごうれいのかけかた 「にっちよく」 『ぜんいん』	⑦・「これからがくしゅうをはじめます。』『はい。』『よろしくおねがいします。』『よろしくおねがいします。』 ・「これでがくしゅうをおわります。』『はい。』『ありがとうございました。』『ありがとうございました。』
	○いすのすわりかた	⑧せすじをのばし、あしをゆかにつける。
	○ノートのとりかた	⑨こくばんのもじを ノートにていねいに かきうつす。
	○てをあげてはっぴようするときのきまり	⑩・しずかに てをあげる。 ・なまえをよばれたら「はい」とへんじをし、たってはっぴようする。 「はい」 たつ 「です」 (へんじ) (きりつ) (ていねいなことばでさいごまでいう)
じゅんぴとまちかた	○ききかた	⑪あいてをみて、はなしのおわりまできく。
	○かたづけ、じゅんぴ	⑫・もとのばしよに がくしゅうようぐをかたづける。 ・つぎのがくしゅうの じゅんぴをする。
かていで	○がくしゅうようぐのじゅんぴ ○かていがくしゅう	⑬・じかんわり、よていひょう、れんらくちょうをみて、じぶんで がくしゅうに ひつようなものを じゅんぴする。 ・じぶんからすすんで しゅくだいにとりくむ。 ・えんぴつをけずってくる。

